

キウイフルーツ 6 品種の宮崎県における栽培適応性

○金城彩夏¹⁾・松浦祥太²⁾・宮廻京平³⁾
(現所属: 宮崎総農試¹⁾・農業普及技術課²⁾・農産園芸課³⁾)

黄色系品種の「センセーションアップル」は食味が良く、収量も多い。

背景・目的

- 近年、国産キウイフルーツの需要が高まっており、宮崎県においても栽培面積が拡大しています(図1)。
- 宮崎県では果肉が緑色の「ヘイワード」が主力品種となっていますが、果肉が赤色や黄色の品種の需要も高まっていることから、果肉色が異なる6品種について、本県における栽培適応性を調査しました(図2)。

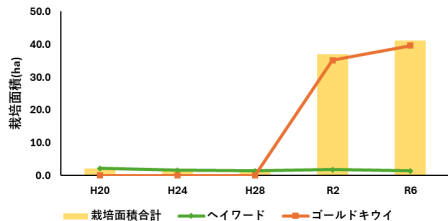


図1 宮崎県におけるキウイフルーツ雌品種の栽培面積の推移(平成20年～令和6年)



図2 追熟前後の品種毎の果実形および果肉色

成果の内容

- 黄色系品種の「センセーションアップル」は追熟後の糖度がBrix 15以上となり、樹冠面積当たりの収量が最も多く、食味評価も最も高くなりました(表1、表2、表3)。「センセーションアップル」は4月下旬～5月上旬に開花後(データ略)、10月中旬以降に収穫できます(表3)。
- 緑色系品種の「香緑」と主力品種「ヘイワード」の糖度は同程度でした(表3)。「香緑」は10月中旬以降、「ヘイワード」は10月下旬以降から収穫できます(表3)。

表1 各品種の平均果実重、収量、樹冠面積当たりの収量

品種	果肉色	平均果実重 [*] (g)	1樹収量 (kg/樹)	樹冠面積 (㎡)	樹冠面積当たり収量 [*] (kg/10a)
紅妃	黄緑(種子付近:赤)	67.6	6.8	32.9	205.2
ゴールデンキング	黄	89.9	7.8	34.0	228.8
東京ゴールド	黄	87.7	36.7	50.7	724.0
センセーションアップル	黄	142.3	22.2	30.2	734.5
香緑	濃緑	96.7	19.8	37.9	522.8
ヘイワード	緑	107.0	13.9	32.4	428.1

注1) 平均果実重、1樹収量、樹冠面積は2023年と2024年の成績の平均。

2023年と2024年の1樹収量と樹冠面積を元にして、樹冠面積当たりの収量を求めた。

注2) 「東京ゴールド」、「香緑」は2樹平均、その他は3樹平均(2024年の「紅妃」は2樹平均)

注3) 2023年時点で「ヘイワード」は着果4年目、その他は着果2年目

*: 全果実重量平均

†: 1樹収量/樹冠面積

表2 各品種の食味に関する評価(2024年)

品種	糖度	酸味	香り	総合評価	備考
紅妃	4.7	4.1	3.3	4.1	n=14
ゴールデンキング	4.3	3.5	3.8	3.9	n=13
センセーションアップル	4.4	3.3	3.9	4.3	n=6
東京ゴールド	3.2	3.4	2.8	2.9	n=35
香緑	3.7	3.0	3.3	3.6	n=7

注) 各品種とも、収穫最終日の果実を追熟させて食味調査を行った。

糖度: 良いを「5」、やや良いを「4」、普通を「3」、やや不良を「2」、不良を「1」とした。

酸味: 感じないを「5」、やや感じるを「3」、強く感じるを「1」とした。

香り: 良いを「5」、やや良いを「4」、普通を「3」、やや不良を「2」、不良を「1」とした。

総合評価: ヘイワードより良いを「5」、やや良いを「4」、同等を「3」、やや不良を「2」、不良を「1」とした。

表3 収穫時期別の各品種の糖度の推移(2022年～2024年の平均)

収穫時期(目安)	紅妃		ゴールデンキング		東京ゴールド		センセーションアップル		香緑		ヘイワード	
	収穫後	追熟後	収穫後	追熟後	収穫後	追熟後	収穫後	追熟後	収穫後	追熟後	収穫後	追熟後
8月中旬～9月中旬	5.5	7.6	6.1	6.4	-	-	-	-	-	-	-	-
9月下旬	6.4	12.8	7.0	9.9	-	-	5.6	13.5	-	-	5.3	13.2
10月上旬	7.8	19.2	7.9	14.5	5.7	11.3	7.4	13.1	5.8	14.7	5.9	14.2
10月中旬	10.9	19.7	9.4	14.6	8.9	12.5	9.6	14.9	6.8	15.5	7.1	14.8
10月下旬	8.9	19.7	10.6	14.3	8.8	12.7	12.5	16.7	8.5	16.6	9.5	15.3
11月上旬～12月上旬	-	-	-	-	10.3	12.1	14.4	16.8	-	-	-	-

注) 色づきのマスは収穫目安時期(追熟後の糖度がBrix 15を超えた日)を示す。

Brix 15を超えなかった2品種について、「ゴールデンキング」はBrix 14を超えた日、「東京ゴールド」はBrix 12を超えた日を収穫目安時期とした。

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 宮崎県でキウイフルーツを導入する際の品種選定に活用できます。

留意点

- 開花期及び収穫期は、気象条件により年次変動がある点に注意が必要です。
- 品質低下を防ぐため、収穫は降霜前に終わらせるようにしましょう。